

御霊（聖霊）の賜物

- 1) 御霊（聖霊）の賜物とは？
- 2) 御霊（聖霊）の賜物について、聖書では全体で何と
いっているのでしょうか。
- 3) それぞれの賜物について
 - （定義）
 - （聖書の中の例）

1) 御霊（聖霊）の賜物とは？

- 知恵のことば
- 知識のことば
- 霊を見分ける力
- 信仰
- いやし

- 奇蹟をおこなう力
- 異言
- 異言を解き明かす力
- 預言

コリント人への第一の手紙 12章7節—11節

御霊の賜物は Crismataha であり、恵みという言葉 Charis から来ています。文字通り恵みのギフト・優雅なギフトという意味です。

これらのことは超自然的な発言や行動に表れました。これらの聖霊の賜物は神からの恵みです。

教会の働きができるよう、クリスチャンを整えるために与えられた聖霊の賜物のことを意味します。

2) 御霊（聖霊）の賜物について、聖書では全体で何とっているのでしょうか。

ローマ書 1:11-12 私があなたがたに会いたいと切に望むのは、御霊の賜物をいくらかでもあなたがたに分けて、あなたがたを強くしたいからです。

というよりも、あなたがたの間において、あなたがたと私との互いの信仰によって、ともに励ましを受けたいのです。

コリント人への第一の手紙 12:1-2 さて、兄弟たち。御霊の賜物についてですが、私はあなたがたに、ぜひ次のことを知っていただきたいのです。

コリント人への第一の手紙 12:31 あなたがたは、よりすぐれた賜物を熱心に求めなさい。また私は、さらにまさる道を示してあげましょう。

コリント人への第一の手紙 14:1-2 愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物、特に預言することを熱心に求めなさい。

コリント人への第一の手紙 14:12 あなたがたの場合も同様です。あなたがたは御霊の賜物を熱心に求めているのですから、教会の徳を高めるために、それが豊かに与えられるよう、熱心に求めなさい。

コリント人への第一の手紙 14:39 それゆえ、私の兄弟たち。預言することを熱心に求めなさい。異言を話すことも禁じてはいけません。

テモテへの手紙第一 4:15-16 長老たちによる按手を受けたとき、預言によって与えられた、あなたのうちにある聖霊の賜物を軽んじてはいけません。これらの務めに心を砕き、しっかりやりなさい。そうすれば、あなたの進歩はすべての人に明らかになるでしょう。

(パウロは、聖霊の賜物を軽んじてはいけないとテモテへ命じました。またこの聖句では、聖霊の賜物も進歩していく可能性があるといっています。)

テモテへの手紙第二 1:6-7 それですから、私はあなたに注意したいのです。私の按手をもってあなたのうちに与えられた神の賜物を、再び燃え立たせてください。

ヘブル人への手紙 2:3-4 私たちがこんなにすばらしい救いをないがしろにした場合、どうしてのがれることができます。この救いは最初主によって語られ、それを聞いた人たちが、確かなものとしてこれを私たちに示し、そのうえ神も、しるしと不思議とさまざまな力あるわざにより、また、みこころに従って聖霊が分け与えてくださる賜物によってあかしされました。

エペソ人への手紙 4:8 そこで、こう言われています。「高い所に上られたとき、彼は多くの捕虜を引き連れ、人々に賜物を分け与えられた。」

[9つの賜物は、大きく3つに分類することができます]

1. 啓示: 知恵の言葉、知識の言葉、霊を見分ける力
2. 力: 信仰、癒し、奇蹟を行う力
3. 音声 (発言) : 異言、異言を解き明かす力、預言

3) Details of each gift それぞれの賜物について

① 知恵のことば

定義：問題の解決策を示すために、神から人へ与えられる瞬間的な啓示。神の啓示によって知識をどのように適用するかを理解している。人間が持つことができる自然の知恵や蓄積された知恵ではない。

例

使徒の働き 6:1-6

5 この提案は全員の承認するところとなり、彼らは、信仰と聖霊とに満ちた人ステパノ、およびピリポ、プロコロ、ニカノル、テモン、パルメナ、アンテオケの改宗者ニコラオを選び ポイント：分裂がおこっていたが、神が解決してくださった。

使徒の働き 15:6-29

8 そして、人の心の中を知っておられる神は、私たちに与えられたと同じように異邦人にも聖霊を与えて、彼らのためにあかしをし、

28 聖霊と私たちは、次のぜひ必要な事のほかは、あなたがたにその上、どんな重荷も負わせないことに決めました。

使徒の働き 6:8-10 10 しかし、彼が知恵と御霊によって語っていたので、それに対応することができなかった。

マタイの福音書 10:18-20 というのは、話すのはあなたがたではなく、あなたがたのうちにあつて話されるあなたがたの父の御霊だからです。

マタイの福音書 22:21 それなら、カイザルのものはカイザルに返しなさい。そして神のものは神に返しなさい。

② 知識のことば

定義：人が今まで知らなかった事実を神が瞬間的に啓示されること

例

使徒の働き 5:1-5 3 そこで、ペテロがこう言った。「アナニヤ。どうしてあなたはサタンに心を奪われ、聖霊を欺いて、地所の代金の一部を自分のために残しておいたのか。」

ヨハネの福音書 4:15-18

18 あなたには夫が五人あったが、今あなたといっしょにいるのは、あなたの夫ではないからです。あなたが言ったことはほんとうです。」

③ 霊を見分ける力

定義：私たちにそれぞれの霊の性質を明らかにするために、神が垣間みせてくれる霊の領域

ギリシャ語の意味は、判断する・分離する・問題の核心に貫通するといった意味です。神から与えられる能力で、そのことが悪魔に起源があるのか、人または天使に起源があるのか、または何が関与しているのかを見抜くことができる、神からの知識です。

例

列王記第二 6:15-17

17 そして、エリシャは祈って主に願った。「どうぞ、彼の目を開いて、見えるようにしてください。」主がその若い者の目を開かれたので、彼が見ると、なんと、火の馬と戦車がエリシャを取り巻いて山に満ちていた。

霊を見分ける賜物が、なぜ私たちに必要なのでしょうか。

1. 悪魔の僕を見つけるため

使徒の働き 13:9-12

パウロは聖霊に満たされました。彼は自分の思いを話していたのではなく、これらは神の裁きの言葉でした。

2. 悪魔をさらけ出して追い出すため

使徒の働き 16:16-18 私たちが祈り場に行く途中、占いの霊につかれた若い女奴隷に出会った。この女は占いをし、主人たちに多くの利益を得させている者であった。

3. 嘘の霊をさらけ出しまちがいを表にだすため

テモテへの手紙 4:1 しかし、御霊が明らかに言われるように、後の時代になると、ある人たちは惑わす霊と悪霊との教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。

4. 神からのものか悪魔からのものかを判断するため

5. 働きの中でよい霊を見つけるため

私たちは様々の霊を試している
真実の霊と間違いの霊がある

ヨハネの手紙第一 4:1-6 それらの霊が神からのものかどうかを、ためしなさい。人となって来たイエス・キリストを告白する霊はみな、神からのものです。

④ 信仰

定義：神業的な全く疑いのない信仰によって、聖徒が奇跡的な解決策を受けれること。通常の信仰を超え、必ず起こるということを確信していること。この信仰はあまりにも強すぎて、疑いたくとも疑い得ないほどの信仰。信仰の賜物があれば、偉大な権威を持って話すことができる。

例：

ダニエル書：2：24 それからダニエルは、王がバビロンの知者たちを滅ぼすように命じておいたアルヨクのもとに行き、彼にこう言った。「バビロンの知者たちを滅ぼしてはなりません。私を王の前に連れて行ってください。私が王に解き明かしを示します。」

列王記第一 18：36 ささげ物をささげるところになると、預言者エリヤは進み出て言った。「アブラハム、イサク、イスラエルの神、主よ。あなたがイスラエルにおいて神であり、私があなたのしもべであり、あなたのみことばによって私がこれらのすべての事を行ったということが、きょう、明らかになりますように。37 私に答えてください。主よ。私に答えてください。この民が、あなたこそ、主よ、神であり、あなたが彼らの心を翻してくださることを知るようになしてください。」38 すると、主の火が降って来て、全焼のいけにえと、たきぎと、石と、ちりとを焼き尽くし、みぞの水もなめ尽くしてしまった。

使徒の働き 3：3-10 6 すると、ペテロは、「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい。」と言って、7 彼の右手を取って立たせた。するとたちまち、彼の足とくるぶしが強くなり、

⑤ いやし

定義：すばらしいギフト、いやしには、いろいろなタイプがある。

いやしは次のような形でおこる。

1. 個人的な祈り
2. 按手
3. 命令又は宣言 病気に対する権限を取る “イエスの名において今癒されよ”
4. 時には癒しの賜物がないクリスチャンによって

マルコの福音書 16：18 また、病人に手を置けば病人はいやされます

5. 祈りの布

使徒の働き 19：12 パウロの身に着けている手ぬぐいや前掛けをはずして病人に当てると、その病気は去り、悪霊は出て行った

6. 聖別されているオイル

ヤコブの手紙 5：14 あなたがたのうちに病気の人がいますか。その人は教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリーブ油を塗って祈ってもらいなさい。

⑥ 奇蹟をおこなう力

定義：自然界の普通の過程の中で起きる神業的な介入。自然界の物理法則に反する力

例：

列王記第二 6:4-7 神の人は言った。「どこに落としたのか。」彼がその場所を示すと、エリシャは一本の枝を切って、そこに投げ込み、斧の頭を浮かばせた。彼が、「それを拾い上げなさい」と言ったので、その人は手を伸ばして、それを取り上げた。

イザヤ書 38:7-8、出エジプト記 7:10、出エジプト記 14:16

出エジプト記 15:23-25 25 モーセは主に叫んだ。すると、主は、彼に一本の木を示されたので、モーセはそれを水に投げ入れた。すると、水は甘くなった。

木や枝は、苦い水をあまくすることはできない。神が神業として行った。この聖句は、キリストが後に私たちのために生きた水を与えてくださったことを示している。このように、キリストは私たちの中の苦いものを取って、その性質を変えてくださった。

出エジプト記 17:5-7 6 さあ、わたしはあそこのホレブの岩の上で、あなたの前に立とう。あなたがその岩を打つと、岩から水が出る。民はそれを飲もう。」そこでモーセはイスラエルの長老たちの目の前で、そのとおりにした。

イエス様は岩であり、彼は私たちの不公正のために打たれた。彼はすべての人のために命を投げ出し岩となった。純粋な命の水。イエス様がぶどうの木であり、私たちはその枝。彼から水を飲むのである。

コリント人への手紙 第一 1:1-5

1 そこで、兄弟たち。私はあなたがたにぜひ次のことを知ってもらいたいです。私たちの父祖たちはみな、雲の下におり、みな海を通過して行きました。2 そしてみな、雲と海とで、モーセにつくバプテスマを受け、3 みな同じ御霊の食べ物を食べ、4 みな同じ御霊の飲み物を飲みました。というのは、彼らについて来た御霊の岩から飲んだからです。その岩とはキリストです。5 にもかかわらず、彼らの大部分は神のみこころにかなわず、荒野で滅ぼされました。

マルコの福音書 6:44 パンを食べたのは、男が五千人であった

使徒の働き 9:40-41、使徒の働き 19:11-12、使徒の働き 20:9-11

なぜ奇蹟が必要なのか

1. 述べ伝えられている神の言葉が真実であるということを確信するため（力のない福音では同じ結果はでない）

マルコの福音書 16:19-20 20 そこで、彼らは出て行って、至る所で福音を宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、みことばに伴うしるしをもって、みことばを確かなものとされた。

伝道には神の力が不可欠。人々は、イエス様だけが唯一の道であり、真理であり、光だと主張した。人々は奇蹟を見たとき、そのしるしと不思議で神の言葉はバックアップされ、その結果人々は信仰をもった。

テモテへの手紙 第二 3:1-5、使徒の働き 4:33-34、ヘブル人への手紙 2:3-4

2.必要を満たすため

マルコの福音書 6:41-44 41 するとイエスは、五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて祝福を求め、パンを裂き、人々に配るように弟子たちに与えられた。また、二匹の魚もみなに分けられた。44 パンを食べたのは、男が五千人であった。

3.神の民を守るため

使徒の働き 28:1-6 3 パウロがひとかかえの柴をたばねて火にくべると、熱気のために、一匹のまむしがはい出して来て、彼の手に取りついた。5 しかし、パウロは、その生き物を火の中に振り落として、何の害も受けなかった。

4.神の裁きを実行するため

使徒の働き 5:1-11 3 そこで、ペテロがこう言った。「アナニヤ。どうしてあなたはサタンに心を奪われ、聖霊を欺いて、地所の代金の一部を自分のために残しておいたのか。5 アナニヤはこのことばを聞くと、倒れて息が絶えた 11 そして、教会全体と、このことを聞いたすべての人たちとに、非常な恐れが生じた。

ペテロは3節のことをどうしてわかったのか？知識のことば 5節のアナニヤが死んだのは神の裁き。いろいろな賜物が同時に働くこともある。

5.手を差し伸べなければならぬ未信者のためのサイン

使徒の働き 13:6-12 11 見よ。主の御手が今、おまえの上にある。おまえは盲目になって、しばらくの間、日の光を見ることができなくなる」と言った。するとたちまち、かすみとやみがかれをおおったので、彼は手を引いてくれる人を捜し回った。12 この出来事を見た総督は、主の教えに驚嘆して信仰に入った。

使徒の働き 8:6 群衆はピリポの話聞き、その行っていたしるしを見て、みなそろって彼の語ることに耳を傾けた。

6.福音に反対する人々を混乱させるため 使徒の働き 13:4-12

7.聖徒を奮い立たせるため

①異言

定義：他人へのメッセージとして与えられる、神業として授けられる話し手が知らない言葉

異言には、知られている言葉と知られていない言葉がある

例：

コリント人への手紙 第一 13:1-2 1 たとい、私が人の異言や、御使いの異言で話しても、愛がないなら、やかましいどらや、うるさいシンバルと同じです。

使徒の働き 2:4-12

異言の賜物と祈りの言葉の違い

例：

使徒の働き 10:44-46 46 彼らが異言を話し、神を賛美するのを聞いたからである（祈りの言葉）

コリント人への手紙 第一 14:3-5 4 異言を話す者は自分の徳を高めますが（祈りの言葉）

コリント人への手紙 第一 14:3-5 もし異言を話す者がその解き明かしをして教会の徳を高めるのでないなら、（賜物としての異言）

コリント人への手紙 第一 12:30-31 30 みながいやしの賜物を持っているでしょうか。みなが異言を語るでしょうか。みなが解き明かしをするでしょうか。（賜物としての異言）

コリント人への手紙 第一 14:27-28 27 もし異言を話すのなら、ふたりか、多くても三人で順番に話すべきで、ひとりでは解き明かしをしなさい、（賜物としての異言）

賜物としての異言

1. 他人を高める
2. 解き明かしの賜物と一緒に使われる
3. この賜物はすべての人がもつものではない
4. 一度に一人が行う

祈りの言葉としての異言

1. 自分を高める
2. 普通、解き明かしは要らない
3. すべての人のためのもの
4. 皆で一緒に祈れ、皆が高められる

⑧ 異言を解き明かす力

定義：舌によって発せられる言葉の神業な訳

人々はどのように解き明かすのか

- a. 一回に一つの言葉だけの意味を受ける
- b. 一回にフレーズや文として受ける
- c. 一回ですべての意味を受ける

真の解釈には流れがある。言葉をまとめたりはしない。

第一人者として受ける

主である私が.....

第三者として受ける

あなたの神である主はあなたと共にいる。主はあなたを強めてくださる。

神が与えたいと思っているその通りに、あなたに与える。

この賜物は持っているか持っていないかのどちらかである。言葉が力強い川の流れのように出るか出ないかである。神の意思によってなされる。

⑨ 預言

定義：解き明かしは異言によって始められるが、預言はそうではない。預言は神の心を話すひとである。預言は知られている言葉での神業の発話、教会へのメッセージを人を通して語っている。

NABI <Hebrews><ヘブル語>湧き上がる、沸騰する、言葉を述べ注ぐ、神の靈感の下、心の底から真剣に話す人

Prophetia <Greek><ギリシャ語>事前に語る、将来の出来事を預言

ギリシャ語で預言や預言者に使われる単語は、説教、教え、伝道に使われる単語とは全く違う単語である。

Keruso <Greek>(公示、宣言)

Didasko <Greek> (指示を与える)

(預言するすべての人が預言者ではない)

例: (使徒の働き 19:6-7) (使徒の働き 21:9)

神の預言者は預言の賜物を持つものよりもはるかに幅広いミニストリーを持っている。預言者は、神からの将来に関する主な啓示を委託し、神が将来何をするかについてすぐれた洞察力を持っている。それぞれのミニストリーには違いがある。エリヤは、何人かの預言者よりも顕著であった。エレミヤのミニストリーは、エゼキエルのものとは同じではなかった。預言者は多くの場合教師でもあるが、預言の賜物を持つ者は教えないこともある。預言者は教会の基礎を築く。

エペソ人への手紙 2:19-22 預言者はリーダーシップにある人々を監督する立場にある

預言者は絶対確実ではありません。また神の言葉は、預言者の言葉に置き換えることはできません。預言者の教義は、あるいは正確であってもなくてもよい。

コリント人への手紙 第一 14:3-4 3 ところが預言する者は、徳を高め、勧めをなし、慰めを与えるために、人に向かって話します。

コリント人への手紙 第一 14 : 29 預言する者も、ふたりか三人が話し、ほかの者はそれを吟味しなさい。
ほかの者はキリストの体を守るために吟味する。こうして解釈の違いがないようにしている。

ローマ人への手紙 12 : 6 私たちは、与えられた恵みに従って、異なった賜物を持っているので、もしそれが預言であれば、その信仰に応じて預言しなさい。

真の預言者と預言を見つけるためには

1. 実現したか？

申命記 18:18-22 22 預言者が主の名によって語っても、そのことが起こらず、実現しないなら、それは主が語られたことばではない。その預言者が不遜にもそれを語ったのである。彼を恐れてはならない。

いくつかの預言は条件付きである。たとえばヨナを見てみよう。人々が悔い改めなかったら神は確かにかれらを滅ぼしてであろう。

(ヨナ書 1:1-3) (ヨナ書 3:4-5) (ヨナ書 3:10-4:3)

2. 実によって

マタイ書 7:15-20 16 あなたがたは、実によって彼らを見分けることができます。ぶどうは、いばらからは取れないし、いちじくは、あざみから取れるわけがないでしょう。

3. 神の言葉と一致しているか

イザヤ書 8:20-21 20 おしえとあかしに尋ねなければならない。もし、このことばに従って語らなければ、その人には夜明けがない。

ヨハネ書 12:48-49 48 わたしを拒み、わたしの言うことを受け入れない者には、その人をさばくものがあります。わたしが話したことばが、終わりの日にその人をさばくのです。

4. 預言者の働きが何を生み出すか

自由を生み出すか束縛を生み出すか？ 罪を悟らせて希望を生み出すか、非難されて恐れと束縛を生み出すか

ローマ書 8:15-17 あなたがたは、人を再び恐怖に陥れるような、奴隷の霊を受けたのではなく、子としてくださる御霊を受けたのです。

コリント人への手紙 第二 3:16-18 17 主は御霊です。そして、主の御霊のあるところには自由があります

5. 証明する

あなたの霊が証明していますか

ヨハネの手紙 第一 2:20-24 20 あなたがたには聖なる方からのそそぎ油があるので、だれでも知識を持っています。21 このように書いて来たのは、あなたがたが真理を知らないからではなく、真理を知っているからであり、また、偽りはすべて真理から出てはいないからです。

10. Final Attitudes and requirements to receive The Gifts

1. 神に身をゆだねたうつわになること
2. 注目されるよりも奉仕することを望むこと
3. 祈りと共に聖霊の賜物と神の言葉を勉強すること。リバイバルに関する本を読むこと。
4. 信仰を持って考え、行動するように自分を整えること
5. 聖霊の賜物の結果を公然と正直に見る。本当に賜物を持っていれば一貫して達成される。
6. 信者からの確認を求める。癒しの賜物を持っていれば、他の人々が祈りを求めてやってくる。
7. 誤りの指摘を素直に受けること
(箴言 3:11-12) (箴言 13:18) (箴言 15:10)

賜物は教会を完璧にするために不完全な器に与えられている

神が行う部分と私たちが行う部分がある

神様が行うこと

私たちが行うこと

神からの賜物は、神の恵みによるものである

私たちはそれらを望む必要がある

賜物は神の意思で行われる

私たちは準備ができている状態でなければならない。

神が言葉や力を与えてくださる

私たちは、信仰を持つ必要がある。。

結果は神に委ねられている

私たちは清められていなければならない。

どの賜物がだれにいくかは、神次第である

私たちは、賜物と聖霊の動きについてすべてのことをすべてのことを知る必要がある。